



編集／東濃厚生病院広報委員会

理念

**歩みいる者に
やすらぎを
去り行く人に
幸せを**

私たちは地域の皆様に愛され、親しまれ、そして信頼される病院を目指します。

行動目標

1. 私たちは日々研鑽に励み、患者さんの立場にたった質の高い医療の提供に努めます。
2. 全職員が患者さんの窓口となり、真心と笑顔で患者さんに接します。
3. 患者さんの言葉を最後まで聴き、患者さんが理解できるよう分かりやすい言葉で説明します。





小児科医師 佐々木 明

笑いの効用



現代社会はストレスに満ちています。個人の自己主張が強くなり、職場、学校、隣近所、家庭など周囲の人とコミュニケーションをとることが難しくなつてそこから多くのストレスが発生します。一方、笑顔と笑いはコミュニケーションに大変役立つといわれています。笑顔は敵意を持っていないという非言語のサインですが更に進んで同意している、感謝していることを相手に伝えます。「おはよう」と言う時その表情が大切に笑顔があれば無言でもそれだけで挨拶になっています。対話の場面でも笑いが入ると相手との距離が縮まりますし、二人が笑い合うと笑いの感情を共有し合い親密感が深まります。昔から「笑う門には福来る」とか「笑いは百薬の長」と言われるように笑いにより元気がもたらされたまた周囲の人と争うことなく仲良く暮らせるというわけですね。

ところで笑いは人間だけに与えられた特権なのでしょうか。人間が最初に笑い始めるのは新生児微笑です。生後数日くらいからすやすや眠っているときに突然可愛く微笑むようになります。神様にあやされていとも形容しますが母親がそれに気づいて思

わず可愛いと声に出して話しかけます。赤ちゃんは泣いて母親を煩わせますが合間に見せる微笑が母親をホッとさせ、あやして更に笑いを誘おうとします。このような相互関係の中で笑う能力が発達して行くものと思われます。

最近笑いの効用が医学的な側面から実証されるようになってきました。たとえば筑波大学の調査では2型糖尿病患者に食事後糖尿病教室の講演を聞いてもらった場合と漫才で爆笑してもらった場合との血糖値を測定比較したところ笑ったグループの血糖値上昇は抑えられたとの結果が出ています。また別の大学の研究で慢性関節リウマチの患者さんに落語を聞いてもらった後にはインターロイキン6という増悪マーカーが激減したとの報告があり、がん患者の場合はナチュラルキラー細胞というリンパ球を増やし痛みを軽減することが報告されています。笑いの前後でのストレスホルモンの一種ハイドロコチゾンの変動も指標になります。

このように笑いの効果が医学的に明らかになると医療の場でも大いに活用が期待されます。クリニックとクラウン（道化師）とを合わせた造語であるク

リニクラウンと呼ばれる人達が子ども病院を訪問し遊びや演技を披露して笑いを引き出し医療に貢献しています。クリニクラウンはすでに世界六十カ国の病院で活躍しています。日本ではまだあまり知られていませんが名古屋第一赤病院の小児病棟で長期療養している難病の子ども達を相手に活動しており、ストレスを溜めた子ども達がクリニクラウンと遊ぶことで元気を回復しているということです。また大阪府では「お笑い看護師」を養成し府立病院に配置することを検討しているそうです。一般病院でも院内に「ユーモアライブラリー」を作って患者さんが笑いを望む時には喜劇や落語などのビデオ、DVDを貸し出すとかユーモアに富んだ書物を提供するなどの工夫があつてもよいでしょう。私も漫才、落語、喜劇のたぐいが好きでお笑い番組はときどき見ますが他人を楽しませ笑わせることは苦手で、相手の自然な笑いを誘うのは至難の技と思っています。多忙な医師や看護師が患者さんを無理矢理笑わせても診療報酬が増えるわけではありませんが少なくとも相手の表情を見ながらおだやかに話す、微笑みかけるくらいのことは出来ると思います。

笑いは単なる気晴らしや娯楽にすぎず、あつてもなくてもどちらでも良いと考えるのではなく自身の健康のためにも仕事の上でも大いに活用すべき時代となりました。

中京学院大学

基礎看護実習レポート

主任看護師 水野 紀代美



先般、平成二十二年五月十日から十四日にかけて、当院にて中京学院大学看護学部看護科一年生の基礎看護実習が行われました。

初日は、実際の医療現場を初めて体験し、どの学生も表情が硬く、緊張の中でのオリエンテーションでした。学生達は、初めて実際の患者さんとのコミュニケーションで、とまどいがあり重い気持ちでした。しかし、日々実習を重ね経験を積み最終日のカンファレンスでは、今までの緊張がとけたせいか、時間を忘れ生き生きと意見を述べあっている学生の姿が見られました。学生の感想として『今回の実習での学びを今後に活かしていきたい』と述べられ、前向きな思いを持って実習を終える事ができたのではないかと感じました。

今回の基礎看護実習についてのポイントは、次のことであると考えます。

- ① 看護の対象を総合的に捉え理解すること。
 - ② 保健・医療・福祉との連携を通してのチームの一員としての役割を学ぶこと。
- これらの事項が有意義な実習であったのであれば、看護を探究する姿勢に繋がるのではないかと思います。

今後も看護学生を受け入れるにあたり、さまざまな看護実践の場面で感性を豊かにしつつ、知識・技術を養っていく事ができるよう、実習の現場でありたい。また、医療チーム全体で看護学生を支援していきたいと考えています。



カンファレンスの様子



指導者より説明を受ける様子

慢性腎臓病

～ 正しい理解と上手な自己管理 ～



透析看護認定看護師
血液浄化センター

高木 朋子

腎臓は私たちの生命を維持する上で、大変重要な働きをしています。しかし、糖尿病や高血圧（腎硬化症）などの生活習慣病に加え、年齢とともにその働きは低下していきます。近年、慢性腎臓病（CKD）の進行による末期腎不全患者さんの透析導入数が増加の一途をたどっていると言われています。

私は、現在「透析看護認定看護師」という資格を生かし、外来・病棟で慢性腎臓病と診断を受けた患者さんへの介入をさせていただいています。少しでも腎機能の低下を抑え、透析導入を遅らせるための食事療法や日常生活指導などを行うことを目的としています。また、透析導入を余儀なくされた場合の療法選択についてもお話をさせていただいています。

腎臓の働きが徐々に低下していく場合、その症状をなかなか自覚しにくいため、実感がわかず自己管理が難しいケースも少なくありません。しかし、腎臓の働きを少しでも維持するためには、食事療法と血圧のコントロールが大切となります。それらをより理解していただけるよう腎臓専門外来で、お話をさせていただいていますので、いつでも声をおかけ下さい。

また、当院では腎臓病教室を年に2回開催しています。尿たんぱくの持続している方、血清クレアチニン値が異常値を示している方を対象に、腎臓病教室チームで精いっぱい準備をして皆さんをお迎えしています。お気軽にご参加いただければと思います。



次回 腎臓病教室開催日

平成22年8月7日（土）

12月4日（土）

9：30～12：00

事前申込による参加

詳細は、東濃厚生病院 血液浄化センターまで
お問合せください

0572-68-4111（代表）

「こんにちは、リハビリテーション科です。」

リハビリテーション科のご案内

リハビリテーションは、患者さんができるだけ早く社会復帰、家庭復帰ができるようにと実践される医療です。

リハビリテーションには「理学療法」、「作業療法」、「言語聴覚療法」があります。

当院では理学療法士（PT）8人、作業療法士（OT）5人、言語聴覚士（ST）2人、理療師1人の総勢16人のスタッフがいます。

それぞれが専門的な知識・技術をもとに回復に向けて連携して取り組み、患者様の状態に合わせ、日々治療を行っております。



主に骨折など整形外科の領域の疾患や、脳卒中や神経難病（パーキンソン病等）などの疾患、呼吸器疾患など、幅広い疾患、年齢層の方々に対して治療・訓練を行なっています。

また、ご自宅に伺って、地域や在宅の生活を支援する「訪問リハビリテーション」も行なっております。

皆様がこの地域で安心して暮らすことができますよう、お手伝いをさせていただきます。

わからないことや困ったことなどあれば

リハビリテーション科まで、お気軽にご相談ください。



理学療法とは？

身体の機能回復や起き上がり、歩くことなどのリハビリを行ないます。



作業療法とは？

上肢の機能や着替え・入浴動作など身の回りのリハビリを行ないます。



言語聴覚療法とは？

ことばや食べることの回復に向けたリハビリを専門に行ないます。

